

令和2年5月29日

就業技術科保護者の皆様

都立水元小合学園校長  
篠崎 友誉

### 感染症対策について

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。  
学校再開に当たり、本校では、以下のとおり、感染症対策を行いますので、御確認の程、お願いいたします。

#### 記

#### 1 教職員の健康管理について

- 検温の実施と出勤時の申告
  - ・全教職員は、自宅にて検温を実施してから出勤します。
  - ・→37.0℃以上または平熱より1.0℃以上高い、発熱や風邪症状がある場合は出勤を控えます。
- マスクの着用
  - ・勤務中は常時着用します。指導中も外さずに、指導を行います。
- 石鹸と流水による、一行為一手洗いの徹底
  - ・出勤時、授業終了後、給食開始前・終了後等、手洗いと手指消毒を徹底して行います。

#### 2 感染症予防のための環境作り

- マスクの着用について
  - ・生徒、保護者、来校者もマスクを着用とします。忘れた場合は貸出を行います。給食の喫食時や歯磨き等でマスクを外す場合は、内側に折りたたみ、各自で保管します。個人で専用の袋を持参しても構いません。
  - ・なお、熱中症の時期となるので、休息や水分補給、健康観察などに配慮します。
- 手洗いの頻度について
  - ・外から教室等に入る時やトイレの後、給食の前後など、こまめな手洗い、うがい等を行います。
  - ・**各自、清潔な少し大きめ又は多めにタオルを持参してください。**
- 手指のアルコール消毒について
  - ・基本的には、石鹸と流水で手洗いを行います。ただし、流水での手洗いができない場合は、アルコールを含んだ消毒液を補助的に使用します。
  - ・生徒は登校時に手指のアルコール消毒を行います。その他、必要に応じて、教室や廊下に設置している場所で、アルコール消毒を行います。
- 換気について
  - ・教室の窓と出入口の扉は常時開放します。(窓については転落防止のため少し開放します。)
  - ・廊下は開放できる窓を開けて、空気の流れをつくります。換気扇は常時使用し、エアコンを使用する際も換気扇を使用し、窓と出入口の扉を開放して換気を行います。
  - ・窓のない部屋は、常時、入口を開放するとともに、換気扇及び扇風機を用いて換気を行います。
  - ・体育館のように広く天井が高い部屋でも、人の密度の多少にかかわらず、窓や出入口の扉を開放して換気を行います。

#### 3 授業を行う環境について

- 3つの条件(3密)を回避
  - ・密閉空間、人の密集、近距離での会話等が同時に重なる場を回避するために、換気、人数制限、間隔を1m以上空ける等の対応を徹底します。

4 教材・教具について

- ・用具や物品を共用する場合は、教材、教具、情報機器などを適切に消毒します。生徒は使用前後に手洗い、アルコール消毒を徹底します。

5 共有部分の定期的な消毒

- ・ドアノブや電気のスイッチ等、接触の多い箇所は1日1回以上消毒液を使用して清掃を行います。
- ・生徒下校後に、再度校内の消毒を行います。

6 健康観察票の記入と健康管理のお願い

○登校時の体調チェックについて

- ・毎朝の検温と体調チェックを行い、健康観察カードへ記入をお願いします。
- ・風邪症状や発熱（37.0℃以上または平熱より1.0℃以上高い場合）は、登校を控え症状がなくなるまで、自宅での休養をお願いします。
- ・登校時に玄関で体調の確認を行います。健康観察カードや検温を忘れてたり、発熱や体調不良の場合は、別室で検温等の健康観察を行います。
- ・発熱等の風邪症状が見られる場合には、保護者の方に連絡をします。自宅で休養、医師への受診をお願いします。
- ・同居をされている御家族の方も健康管理への御協力をお願いします。発熱や風邪症状が見られる場合は、健康観察カードの家族欄に御記入ください。
- ・感染拡大を防ぐために、引き続き不要不急の外出や、人が集まる場への参加を控える等、御配慮をお願いします。

【問合せ先】

就業技術科

副校長 西牧 桂

主幹教諭 北村 匡史

主任教諭 片山 朗子

電 話 03-5699-0141